



# スポーツ秋田

題字：辻 兵吉 元県体協会長



本県選手団旗手、レスリング競技 桑原章嘉(秋田商業高校)と鈴木洋一会長

現地激励会、誓いの言葉 バスケットボール競技 佐藤光(湯沢翔北高校)

[写真提供：秋田魁新報社]

## contents

スパキタ！キャラクター .....	2
スポーツ立県推進キャンペーン .....	3
おいでませ！山口国体 .....	4
第66回国民体育大会本大会入賞者一覧 .....	5
第66回国民体育大会成績と昨年度比較 .....	6
秋田国体以降の本県の天皇杯順位・国体獲得得点一覧 .....	7
国体優勝者インタビュー .....	8
強化拠点校紹介	
秋田市立秋田商業高校 レスリング部 .....	12
強化拠点校紹介	
秋田県立金足農業高校 ウエイトリフティング部 .....	14

第1回 秋田県高等学校強化拠点校監督研修会 .....	16
第66回国民体育大会報告会 .....	17
第67回国民体育大会冬季大会に向けて .....	18
スポーツ科学センターだより	
総合型地域スポーツクラブを核とした地域活性化モデル事業 ...	20
はばたけジュニア「秋田県ライフル射撃協会」 .....	22
いざ、冬の陣！ .....	24
(財)秋田県体育協会だより・会議録(抄)・編集後記 .....	28
おいでませ！山口国体アルバム .....	29

スパキタ！キャラクター愛称募集に  
多数の応募ありがとうございました。

応募総数 「876」点



# スパキタ!



スポーツ王国、秋田へ。

もうっし  
待ってね ♡



# スポーツ立県推進キャンペーン

本会では「スポーツ立県推進キャンペーン」を展開中。「スポーツ秋田」を略して「スパキタ!」を合い言葉として、スポーツ立県を応援するキャラクターを考えました。キャンペーンカーの真っ赤なボディには「スパキタ!」の文字やキャラクターがデザインされています。今後様々なスポーツ会場で目にすることがあるかと思われまますのでよろしくお願いたします。





【カヌー競技】  
成年男子カヌースプリントカヤックシングル500m優勝 佐々木健彦



【レスリング競技】成年男子フリースタイル84kg級優勝 門間順輝



【馬術競技】  
成年女子自由演技馬場馬術優勝 三浦裕芽子



【フェンシング競技】少年女子団体フルーレ優勝 聖霊高校



【ライフル射撃競技】  
成年男子10mエアライフル伏射60発競技優勝 渋谷 志



【ウエイトリフティング競技】  
少年男子69kg級スナッチ優勝 小山内 健



【フェンシング競技】成年男子団体フルーレ優勝 秋田選抜



# 第66回 国民体育大会(本大会)入賞者一覧

順位	競技	種別	種目	氏名	所属
1位	フェンシング	成男	フルーレ	秋田 選 抜	
	フェンシング	少女	フルーレ	聖 霊 高 校	
	レスリング	成男	フリースタイル 84kg 級	門 間 順 輝	城東消防署
	ウエイトリフティング	少男	69kg 級スナッチ	小山内 健	能代工業高校 3年
	馬術	成女	自由演技馬場馬術	三 浦 裕 芽 子	秋田県体育協会
	ライフル射撃	成男	10 mエアライフル伏射 (60 発)	渋谷 志	秋田中央署
	カヌースプリント	成男	カヤックシングル 500 m	佐々木 健彦	鹿屋体育大学 4年
2位	サッカー	成男		秋 田 選 抜	
	ボート	成女	舵手つきクォドルブル	秋 田 選 抜	
	レスリング	少男	グレコローマンスタイル 84kg 級	櫻 庭 正 義	秋田商業高校 3年
	レスリング	少男	フリースタイル 96kg 級	齊 藤 拳 斗	秋田商業高校 3年
	ウエイトリフティング	少男	94kg 級ジャーク	奈 良 翔 平	金足農業高校 3年
	馬術	成女	馬場馬術	三 浦 裕 芽 子	秋田県体育協会
	ライフル射撃	少男	ピームピストル (40 発)	高 橋 駿 平	泉中学校 3年
	カヌースプリント	成女	カヤックシングル 200 m	小 野 祐 佳	筑波大学 3年
	カヌースプリント	少女	カヤックシングル 500 m	佐 藤 美 鈴	由利高校 3年
3位	カヌー W W	成男	カヤックシングルスプリント	佐々木 翼	秋田県体育協会
	バドミントン	成女		北 都 銀 行	
	レスリング	成男	グレコローマンスタイル 96kg 級	大 坂 昂	早稲田大学 2年
	レスリング	少男	フリースタイル 50kg 級	菅 原 躍	秋田商業高校 3年
	ウエイトリフティング	少男	69kg 級ジャーク	小山内 健	能代工業高校 3年
	ウエイトリフティング	少男	105kg 超級スナッチ	腰 山 浩 汰	金足農業高校 3年
4位	馬術	少年	馬場馬術	小 澤 勝 芳	秋田県馬術連盟
	カヌースプリント	少女	カヤックシングル 200 m	佐 藤 美 鈴	由利高校 3年
	相撲	少男	団体	秋 田 選 抜	
	フェンシング	成女	フルーレ	秋 田 選 抜	
	陸上競技	少男A	円盤投げ	安 保 建 吾	花輪高校 3年
	陸上競技	少女B	走り幅跳び	高 橋 英 里	横手清陵学院高校 1年
5位	ウエイトリフティング	少男	105kg 超級ジャーク	腰 山 浩 汰	金足農業高校 3年
	馬術	成男	馬場馬術	阿 部 大 輔	横手高校教
	カヌースプリント	成女	カヤックシングル 500 m	小 野 祐 佳	筑波大学 3年
	ラグビーフットボール	成男		秋 田 選 抜	
	レスリング	少男	グレコローマンスタイル 55kg 級	菅 原 洸 大	秋田商業高校 3年
	レスリング	少男	フリースタイル 74kg 級	成 田 竜 也	秋田商業高校 3年
6位	ウエイトリフティング	少男	94kg 級スナッチ	奈 良 翔 平	金足農業高校 3年
	馬術	少年	自由演技馬場馬術	小 澤 勝 芳	秋田県馬術連盟
	水泳(競泳)	成女	100 m背泳ぎ	久保木 怜	神奈川大学 3年
	ウエイトリフティング	成男	53kg 級スナッチ	保 坂 恵 輔	秋田製錬(株)飯島製錬所
7位	ウエイトリフティング	成男	105kg 超級ジャーク	村 越 卓	(株)佐藤海事
	自転車	少男	4000 m速度競走	高 橋 大 輝	大曲農業高校 3年
	カヌースプリント	成男	カヤックシングル 200 m	佐々木 健彦	鹿屋体育大学 4年
	自転車		チームスプリント	大曲農業高校	
8位	陸上競技	少男A	やり投げ	関 和 紀	能代商業高校 2年
	陸上競技	少男	800 m	佐 藤 涉	秋田商業高校 3年
	陸上競技	少女A	100 m	高 橋 美 香 子	秋田和洋女子高校 2年
	ウエイトリフティング	成男	94kg 級スナッチ	菊 地 雅 史	金沢学院大学 4年
	ウエイトリフティング	成男	105kg 超級スナッチ	藤 原 和 朋	日本大学 3年
	ウエイトリフティング	成男	105kg 級ジャーク	藤 原 和 朋	日本大学 3年
8位	クレール射撃	成男	トラップ競技	秋 田 選 抜	
	陸上競技	成女	100 mハードル	相 馬 絵 里 子	筑波大学 2年
	ウエイトリフティング	成男	53kg 級ジャーク	保 坂 恵 輔	秋田製錬(株)飯島製錬所
	馬術	成男	自由演技馬場馬術	阿 部 大 輔	横手高校教
カヌースプリント	少男	カヤックシングル 500 m	佐々木 空	秋田県カヌー協会	



# 第66回国民体育大会成績と昨年度比較

- ・平成23年第66回国体総得点 571.0点 + 参加点400点 = 971.0点  
天皇杯 19位 皇后杯 27位
- ・平成22年第65回国体総得点 481.5点 + 参加点400点 = 881.5点  
天皇杯 28位 皇后杯 30位

	冬季国体	本 国 体	総 合	
第 66回	1 6 6.0	8 0 5.0	9 7 1.0	順位 19位
第 65 回	1 1 5.0	7 6 6.5	8 8 1.5	順位 28位
比 較	+ 5 1.0	+ 3 8.5	+ 8 9.5	+ 9 位

(参加得点含む)

## 第66回国民体育大会成績

### 天 皇 杯

#### 男女総合得点

- ①山 口 2220.50
- ②東 京 2053.50
- ③愛 知 1953.33
- ④岐 阜 1669.00
- ⑤大 阪 1633.00
- ⑥神奈川 1628.83
- ⑦千 葉 1612.50
- ⑧埼 玉 1546.50
- ⑨広 島 1460.50
- ⑩北海道 1392.50
- ⑪兵 庫 1341.50
- ⑫福 岡 1341.50
- ⑬京 都 1299.50
- ⑭岡 山 1272.00
- ⑮長 崎 1055.50
- ⑯山 梨 1012.00
- ⑰長 野 983.50
- ⑱熊 本 972.50
- ⑲秋 田 971.00**
- ⑳宮 城 962.50
- ㉑群 馬 961.00
- ㉒静 岡 959.00
- ㉓佐 賀 957.50
- ㉔大 分 953.50
- ㉕愛 媛 939.50
- ㉖香 川 925.00
- ㉗栃 木 920.00
- ㉘宮 崎 919.00
- ㉙青 森 913.50
- ⑳福 井 891.00
- ㉑石 川 877.00
- ㉒三 重 858.50
- ㉓新 潟 843.50
- ㉔滋 賀 825.00
- ㉕奈 良 815.50
- ㉖茨 城 802.00
- ㉗富 山 798.83
- ㉘鹿 児 島 777.50
- ㉙沖 縄 760.50
- ⑳福 島 727.00
- ㉑岩 手 715.00
- ㉒山 形 713.00
- ㉓和 歌 山 710.00
- ㉔鳥 取 628.00
- ㉕島 根 579.50
- ㉖高 知 536.50
- ㉗徳 島 525.00

### 皇 后 杯

#### 女子総合得点

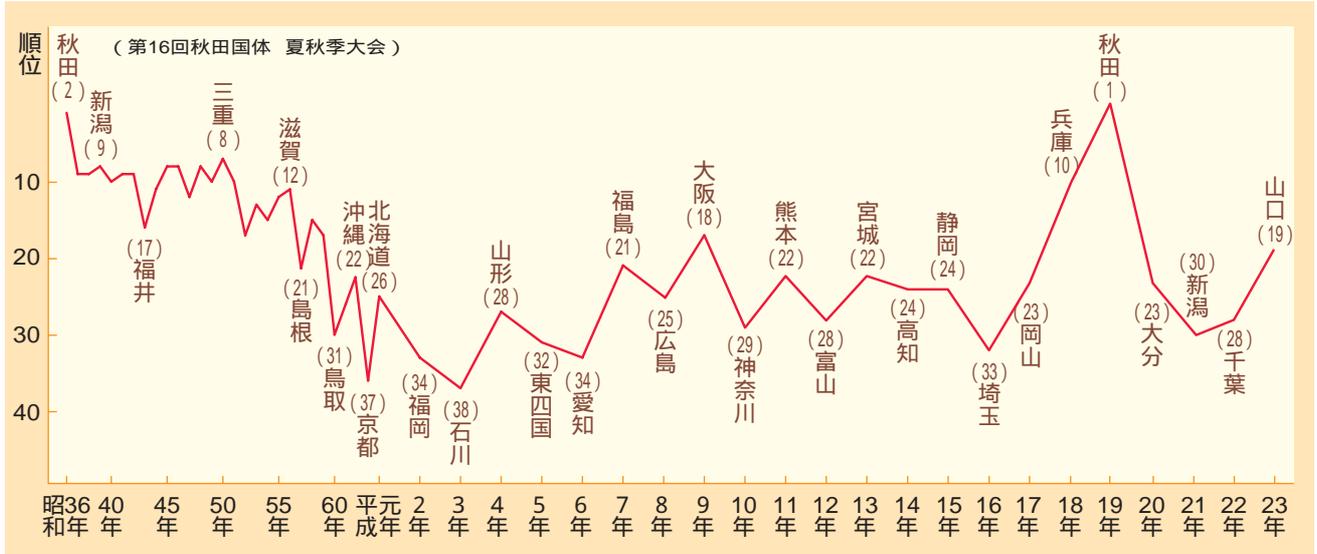
- ①山 口 1089.50
- ②東 京 976.50
- ③岐 阜 958.50
- ④大 阪 924.00
- ⑤愛 知 846.50
- ⑥千 葉 830.50
- ⑦北海道 752.50
- ⑧神奈川 741.00
- ⑨兵 庫 715.00
- ⑩福 岡 698.00
- ⑪埼 玉 675.50
- ⑫広 島 646.00
- ⑬岡 山 635.00
- ⑭京 都 589.00
- ⑮静 岡 563.50
- ⑯大 分 540.50
- ⑰愛 媛 540.00
- ⑱長 崎 532.00
- ⑲山 梨 531.00
- ⑳石 川 511.00
- ㉑長 野 507.50
- ㉒栃 木 498.00
- ㉓福 井 496.00
- ㉔宮 城 494.50
- ㉕群 馬 492.50
- ㉖熊 本 483.50
- ㉗秋 田 476.00**
- ㉘新 潟 471.50
- ㉙滋 賀 469.00
- ⑳富 山 466.50
- ㉑佐 賀 465.50
- ㉒青 森 440.00
- ㉓山 形 434.50
- ㉔鹿 児 島 432.50
- ㉕香 川 431.50
- ㉖宮 崎 413.00
- ㉗茨 城 410.00
- ㉘奈 良 408.50
- ㉙岩 手 390.00
- ⑳福 島 387.00
- ㉑鳥 取 380.00
- ㉒沖 縄 376.00
- ㉓高 知 361.50
- ㉔三 重 359.00
- ㉕和 歌 山 354.00
- ㉖島 根 340.50
- ㉗徳 島 321.00

## 秋田県順位の推移

回	年	開催地	天皇杯	皇后杯	回	年	開催地	天皇杯	皇后杯
1	21	京 都			34	54	宮 崎	16	12
2	22	石 川			35	55	栃 木	13	23
3	23	福 岡	11	19	36	56	滋 賀	12	13
4	24	東 京	18	27	37	57	島 根	21	33
5	25	愛 知	13	29	38	58	群 馬	16	37
6	26	広 島	18	35	39	59	奈 良	18	36
7	27	東 北	15	36	40	60	鳥 取	31	25
8	28	四 国	16	22	41	61	山 梨	27	26
9	29	北海道	17	23	42	62	沖 縄	22	27
10	30	神奈川	11	19	43	63	京 都	37	38
11	31	兵 庫	10	15	44	元 北海道	26	36	
12	32	静 岡	26	23	45	2 福 岡	34	43	
13	33	富 山	29	21	46	3 石 川	38	46	
14	34	東 京	12	16	47	4 山 形	28	39	
15	35	熊 本	9	10	48	5 東四国	32	41	
16	36	秋 田	2	4	49	6 愛 知	34	45	
17	37	岡 山	10	12	50	7 福 島	21	25	
18	38	山 口	10	14	51	8 広 島	25	44	
19	39	新 潟	9	12	52	9 大 阪	18	33	
20	40	岐 阜	11	16	53	10 神奈川	29	42	
21	41	大 分	10	17	54	11 熊 本	22	42	
22	42	埼 玉	10	6	55	12 富 山	28	38	
23	43	福 井	17	24	56	13 宮 城	22	34	
24	44	長 崎	12	14	57	14 高 知	24	33	
25	45	岩 手	9	6	58	15 静 岡	24	39	
26	46	和歌山	9	4	59	16 埼 玉	33	38	
27	47	鹿 児 島	13	14	60	17 岡 山	23	34	
28	48	千 葉	9	7	61	18 兵 庫	10	17	
29	49	茨 城	11	12	62	19 秋 田	1	1	
30	50	三 重	8	10	63	20 大 分	23	25	
31	51	佐 賀	11	16	64	21 新 潟	30	41	
32	52	青 森	18	21	65	22 千 葉	28	30	
33	53	長 野	14	5	66	23 山 口	19	27	



# 昭和36年秋田国体以降の本県の天皇杯順位





# 国体優勝者インタビュー



レスリング競技 成年男子  
フリースタイル 84kg 級

城東消防署  
門 間 順 輝

**質問 1 出身校を教えてください。**

(出身小学校) 飯田川小学校  
(出身中学校) 羽城中学校  
(出 身 高 校) 秋田商業高校  
(出 身 大 学) 日本体育大学

**質問 2 今大会優勝の感想を聞かせて下さい。**

2連覇出来たことは素直にうれしい。支えてもらった家族やご理解、ご協力して頂いた職場の方、県レスリング関係者の方に感謝している。国体に限って言えば連覇はできるだけ続けたい。ただ、この結果には決して満足はしていない。これをステップとして全日本選手権につなげたい。

**質問 3 今回の優勝の原動力になったポイントを教えてください。**

地元に戻ってきて、たくさんの激励の言葉を頂いた。応援してくれる方々の期待に応えたいという気持ちだと思う。

**質問 4 今後、ロンドン五輪への出場を懸けた戦いが続きますが、ロンドン五輪への思いを教えてください。**

自分の実力、置かれている状況を考えると正直厳しいところもあるが、勝負には絶対はない。チャンスはあると思う。オリンピックは高校、大学とレスリングを本気で取り組むようになってから大きな目標であった。人生でオリンピックを狙えるというのは、今だけと思っている。今という時間を大切に、地元秋田の力も借りてオリンピックを狙いたいと思う。

**質問 5 レスリング競技の魅力をお願いします。**

レスリングに限ったことではないが、目標に向かって努力し、それが結果につながった時の達成感。厳しいことも多いが、だからこそ魅力も大きく、多いと思う。

**質問 6 アスリートとして大切にしていることを教えてください。**

練習以外の時間を大切にすること。良い練習をするには練習以外の時間が大切になってくると思う。特に練習後の時間は体をケアをしたり、次の練習に備えるようにしている。

**質問 7 自分を支える座右の銘、大切にしている言葉などを教えてください。**

「努力しても必ず成功するわけではないが、成功した人は必ず努力している。」「人間的成長なくして、技術的進歩なし。」レスリングにおいては、常に目標を作り努力するようにしている。

**質問 8 秋田県のスポーツを愛する皆さんへ一言。**

応援よろしくお願いします。



馬術競技 成年女子  
自由演技馬場馬術

秋田県体育協会  
三 浦 裕 芽 子

**質問 1 出身校を教えてください。**

(出身小学校) 築山小学校  
(出身中学校) 秋田南中学校  
(出 身 高 校) 秋田北高校

**質問 2 今大会優勝の感想を聞かせて下さい。**

昨年の千葉国体では調子が良くて、本番も自分なりにうまくできて優勝することができましたが、今回の山口国体では、長距離輸送などで馬の疲れもあり、調子があまり良くなかったため、自分でも本当に驚きました。疲労がたまっている中、最後まで頑張ってくれたプリンスノワールに感謝したいです。

**質問 3 今回の優勝の原動力になったポイントを教えてください。**

本番直前の準備運動をする中で、疲労からプリンスノワールが運動を嫌がる素振りを何度か見せました。そのため、本番では普段よりも少し軽い指示を送ることで、プリンスノワールも気分良く応えてくれました。普段からの練習やコミュニケーションをとっていくなかで得た、馬とのコンビネーションがうまくいった結果だと思っています。

**質問 4 愛馬プリンスノワール号とのコミュニケーション作りはどのようにおこなっていますが。**

乗って練習することの他に、毎日、餌をあげたり、馬房を掃除したり、体をきれいにしたりあげたり・・・馬が自分で出来ないことは、すべてやってあげなければいけません。なので、特に何か意識してコミュニケーション作りをすることはありません。が、しいて言えば、よろしくねという意味で乗る前には必ず氷砂糖をあげます。

**質問 5 馬術競技の魅力をお願いします。**

一番の魅力は、馬と一体になった時の感覚です。自分の意思が馬に伝わり、馬が気持ちよく自分から動いてくれる。走っているのは自分なのか、馬なのか？すごく不思議な感覚です。何年馬に乗っていても、なかなか一体になることは難しいですが、たまに感じるその一瞬の感覚がたまりません！

**質問 6 アスリートとして大切にしていることを教えてください。**

自分をアスリートだと意識したことはありません。食事に関しても、好きなものを好きなように・・・。ただ、馬の食事や運動などに関しては、すごく考えます。馬術競技は、どちらかという人間よりも馬がアスリート？なので、自分が大切にしていることは、「馬を大事にすること」です。

**質問 7 自分を支える座右の銘、大切にしている言葉などを教えてください。**

あまり考えたことがありませんでしたが、「大丈夫」という言葉は好きです。私は色々と考え過ぎたり、心配し過ぎることがよくありますが、そういう時に「大丈夫」って言うてもらえたり、「大丈夫」って思うようにすると、なんとなく楽になります。そして、そういう時はたいてい、大丈夫なんです！

**質問 8 秋田県のスポーツを愛する皆さんへ一言。**

スポーツって、楽しいですよ！観るスポーツも、やるスポーツも、人を元気にしてくれます。私も、人を元気にすることができるような選手になれるよう頑張りたいです。



**ライフル射撃競技 成年男子  
10mエアライフル伏射 60発競技**

秋田中央警察署  
**渋谷 志**

**質問 1 出身校を教えてください。**

- (出身小学校) 仙南東小学校
- (出身中学校) 仙南中学校
- (出身高校) 横手高校
- (出身大学) 玉川大学

**質問 2 今大会優勝の感想を聞かせて下さい。**

この競技は3年前から、最初からファイナル形式で採点される。つまり1発の最高点が10.9になる。過去の競技データから、1~2位に絡むには平均10.5、60発トータルで630は欲しいところ、結果629.8。わずかに0.2点で、4位以下となっても不思議でないが、周りが意識したのか1位に滑り込んだと言うのが実感。秋田国体のときは地力(自力ではなく)を生かしたシミュレーションにより、2位と5点差でファイナルに臨んだことを思えば、別の嬉しさがある。ちなみに直径0.5mmの10点に触れば10.0計算。

**質問 3 今回の優勝の原動力になったポイントを教えてください。**

例年に比べ練習量が絶対不足しているなか、昨年6位のリベンジを果たすべく昨年のセッティングのまま参加した。もちろん法の許す範囲で細かなチューニングは行ったが、セッティングの不安がない分、また、前日練習でいい感じ(10発シリーズで105.5が連続するなど)があり、積極的に射撃に向かえたことは大きい。宮城のリハサル大会(当時は小数点計算無し)の全日本社会人1位としては、その年の富山国体で途中棄権するなどの経緯があり、まさにリベンジであり、プラス思考できた。

**質問 4 競技の特性上、メンタルの強さが他の競技よりも求められると思いますが、競技中どのような対応をしていますか。**

平日頃から信念として申し上げていることであるが、メンタル先にはありきではなく、スキルあってのメンタルであると確信している。その意味において、当たり前なら「基本」そうやってその日の細やかなセッティングをチェックして行く。あせらずにこれができることがメンタルか?75分の競技時間の内25分を照準調整に費やした。結構狡猾に時間調整している。専門的になるが、10点真ん中で引き金を引くとタイムラグからほぼ外側に弾が逸れる結果となる。10点真ん中に当たるところで引き金が落ちることを心がけるところがメンタルか。決して精神力先にはありきではない。本射60発のなかではミスもある。これがセンターに近いところの得点であったらラッキーと思う。プラス思考につなげる。

**質問 5 ライフル射撃競技の魅力をお教えてください。**

取材にも同様の答えをしたことであるが、子供のころ、雪球で電柱を狙って当たれば嬉しくなかったか。一般に的当て競技は、単純に当たれば嬉しいと思う。これが精度の高い、弾速の速いライフル射撃で競技として確立しているだけと思う。その上で、ある日本人オリンピック選手の言葉として、「競技することが好きなんです。」は事実と言える。

**質問 6 アスリートとして大切にしていることを教えてください。**

アスリートなどと言われるとパワースポーツでないだけに「ソワソワ」とした危機感を感じますが、トップアスリートが競技場で十字を切る理由に通じるかもしれません。神がかりではなく、「やるだけやったんだからあとは思い召すまま」の意味があるそうです。秋田国体に向けて自然と学んだ形になりますが、「運命論者にならない、古い論者にならない」ことでしょうか。かの「柔ちゃん」、成田を立つ際の領収書の1のぞろ目に「喜び(プラス思考)したと聞く。プラスに作用すればいいのだ」ということです。

**質問 7 自分を支える座右の銘、大切にしている言葉などを教えてください。**

「最後まであきらめない」「最後まで真摯に撃つ」、どうも前の質問に反するようであるが、自分が不調のときは周りも不調の傾向が否めない。特に50m競技では自然環境の影響をものにするようになる。結果、ひどい横風のなか平成16年のブロック予選落ち。未だにそのPTSDがあり、外すところはいつもほぼ一緒。イップスと言っているかもしれない。未だに解決は見えていない。他にジュニアの指導にあたって、いつも言うこと。実はこの競技10発1シリーズで採点される。その繰り返し40発(4シリーズ)60発(6シリーズ)かということになるのだが、ある指導者はシリーズを意識するなど言う。しかし、競技(採点)はシリーズごとに行われる。であれば全弾数の初弾(1発目)と最終弾は確実に10点をとること、同じく各シリーズの1発目、10発目を確実に10点をとること、を重視し、シリーズの10発を徹底的に意識しなさいと言うことである。それが順位に反映するのだから当然のことと考える。1発のミスショットを引きずらないことはどの競技にも共通することではないだろうか。

**質問 8 秋田県のスポーツを愛する皆さんへ一言。**

さて、私は今回満52歳で1位ということにも注目された(某新聞社には生年月日を聞かれた)ようであるが、大分国体の際、私も参加していた50m伏射競技で8位入賞を果たした福岡県の武井選手は当時73歳であった。予選は4位通過である。自身の競技歴は長くなったが、30歳からの国体出場であり、パワースポーツではない分、「継続は力なり」が実践できる競技と言える。基本をマスターすることによって、女性のほうが伸びやすい競技でもある。自身は今後も競技を継続していくが、法律の規制を受けない種目もあるので、皆様もぜひ一度経験、チャレンジしてみたいいかがでしょうか。ハイレベルの生涯スポーツになりうる競技と考えています。



**カヌー競技 成年男子  
カヌースプリントカヤックシングル 500m**

鹿屋体育大学 4年  
**佐々木 健彦**

**質問 1 出身校を教えてください。**

- (出身小学校) 新山小学校
- (出身中学校) 本荘北中学校
- (出身高校) 本荘高校

**質問 2 今大会優勝の感想を聞かせて下さい。**

シニアとして初めての優勝ができて率直にうれしかったです。今大会は直後にオリンピックアジア大陸予選があり、欠場している選手もいました。そんななかでもライバルに勝って一番になれたことに喜びを感じています。また、これまで自分を応援し続けてくれた方々に良い報告ができてよかったです。

**質問 3 今回の優勝の原動力になったポイントを教えてください。**

今大会では特に自分に期待してくれていた方々が多くいました。これだけの方が自分に期待をしてくれている、と考えると、レース後にみんなが喜んでくれている場面が想像できたので、その場面を実現したい、という勇気が湧いてきました。

**質問 4 決勝のレースは大接戦でしたが、スタート前やレース中はどんなことを考えていましたか。**

優勝する、ではなく、ライバル一人一人に勝つんだという考えを自分に言い聞かせていました。このことで、レースに前向きな緊張感と勇気をもって臨むことができました。決勝レース中は、ライバルのペースに合わせてながら、中盤から自分の得意なパターンに持っていけるように、と考えていました。

**質問 5 カヌースプリント競技の魅力をお教えてください。**

カヌースプリントは水面を滑るように漕いでいくスピード感が何よりの魅力です。自分が出した力が100%水に伝わり、その力でカヌーが前に滑っていく感覚はとても気持ちがいいです。また、スラロームやワイルドウォーターと違い、他の選手と隣に並んで競い合えるのはスプリントならではの魅力です。

**質問 6 アスリートとして大切にしていることを教えてください。**

とにかく楽しむことです。せっかくやるからには楽しくないもったいないので。いやなことはやらないか、どうしても必要なら楽しくなるように工夫します。そのおかげで、楽しみながら競技生活を続けられています。

**質問 7 自分を支える座右の銘、大切にしている言葉などを教えてください。**

「ENJOY PLAYING」です。歯を食いしばって耐え抜く練習ではどうしても自主的にはなれません。苦しい練習でも、「自分がどこまでできるんだろう」と、なにか楽しみを見つけることで積極的になれます。遊びを自主的にすると同じ感覚でカヌーにも向きあえています。

**質問 8 秋田県のスポーツを愛する皆さんへ一言。**

スポーツを楽しみましょう! 苦しい、辛い時でもきつとなにか楽しみはあります。楽しむことができればどんどん上達していきます。そうすると楽しくなっていくます。スポーツは楽しんだ者勝ちです!



## フェンシング競技 成年男子 団体フルーレ

(株) 鶴 弥 齋 藤 有
専修大学 4年 佐 藤 樹
日本大学 2年 松 岡 慧



松岡選手

齋藤選手

佐藤選手

### 質問1 出身校を教えてください。

(齋 藤) 城南小学校、大館第一中学校、合川高校、朝日大学  
 (佐 藤) 築山小学校、秋田南中学校、明桜高校  
 (松 岡) 広面小学校、城東中学校、合川高校

### 質問2 今大会優勝の感想を聞かせて下さい。

(齋藤) 私は今大会で、国体出場10回目でした。今まで国体で経験してきたことを生かし、監督としてもチームを引っ張っていくことができたと思います。佐藤も松岡もとてもしっかりプレーしてくれましたので、優勝できたと思います。  
 (佐藤) 素直に嬉しいです。チームとしても目標がベスト8だったので、優勝できたことは本当に嬉しいです。  
 (松岡) 一言で言うとな正直に「嬉しい」の一言に尽きますね。一人ひとりが支えあって勝ち取った優勝だと思います。

### 質問3 今回の優勝の原動力になったポイントを教えてください。

(齋藤) 何より、チームワークの良さだと思います。誰かが負けても、誰かが必ず勝つ、という信頼関係がしっかりあるチームだったことだと思います。  
 (佐藤) 今回の試合では齋藤先輩に的確なアドバイスをいただき本当に助けられました。さらに秋田県チームのどの県にもないチーム力が優勝の原動力になりました。  
 (松岡) 齋藤監督兼選手が今年で国体10年選手ということもあり、優勝とダブルでお祝いしたいと佐藤先輩と話していました。

### 質問4 齋藤選手に聞きます。決勝トーナメント3回戦、1-1で迎えた3試合目で0-4という絶体絶命の場面という気持ちで逆転に結びつけたが、

私のミスで0-4にという場面になってしまったのですが、試合の内容や戦い方は悪くなかったし、流れが必ず自分の方に来ると信じてプレーしました。まったく迷いはありませんでした。

### 質問4 佐藤選手に聞きます。わか杉国体(少年男子)での優勝と、成年選手となってからの優勝、同じ優勝でも思いに変化はありますか。

特に変わりはありませんが、今回の優勝でフェンシングはやっぱり楽しいと再確認することができました。

### 質問4 松岡選手に聞きます。決勝戦、18年ぶりの優勝が懸かる1-1で迎えた3試合目、どのような気持ちで戦いましたが、

自分の結果でチームの結果が決まる。他の人だったらどうかわからないが俄然勝ってやると燃えていました。秋田国体でも同じシチュエーションで決められたので自信もあった。

### 質問5 フェンシング競技の魅力をお教えてください。

(齋藤) フェンシングは私にとって、とても大切で、楽しくて、最高のスポーツだと思っています。魅力は自分がイメージしたプレーができたり、試合の流れを感じて最高の試合ができた時は最高に幸せです。  
 (佐藤) フェンシングは、インテリジェントスポーツで相手との駆け引きが魅力です。なによりも素早い迫力のある動きはとても魅力的です。  
 (松岡) 相手の裏をかくような駆け引きや、思った通りに点が決まるときには爽快感を感じる。

### 質問6 アスリートとして大切にしていることを教えてください。

(齋藤) いつでも、どんなときでも優勝するための準備は怠らないことです。  
 (佐藤) 何をするにも最後の最後まで諦めないことです。  
 (松岡) 私生活もそうですが、やはり1番は練習。練習を疎かにしたら試合では勝てないし、苦しくて辛い練習も負けたときの悔しさを考えたら乗り切れる。

### 質問7 自分を支える座右の銘、大切にしている言葉などを教えてください。

(齋藤) 『そこから先は神の領域』という言葉大切にしています。努力しても勝てないこともありますし、チャンスが来ても、流れが来ても掴めない時もあります。人生もチャンスは何処にでもあると思います。ですから私はチャンスは掴むために準備をしています。それがフェンシングにとっては毎日の練習だと思っています。  
 (佐藤) 「勇気をもって楽しむ!」これは、わか杉国体を前に亡くなられた松橋さん(元理事長)に亡くなる直前にいただいたメモに書いてあった言葉です。この言葉は自分の人生にずっと生き続ける言葉です。  
 (松岡) 「自分を信じて疑わない」。私の尊敬している大学の先輩でもある、同じ東北出身の淡路卓選手からの言葉。怪我をして半年間という長いリハビリ期間を強いられて悩んでいたときにいただいた言葉。この言葉のおかげで、この半年間をリハビリに費やしても、「オリンピックで金メダルを獲得」という自分の夢を達成するために今は我慢するんだと、自分を疑わずに信じてこれた。

### 質問8 秋田県のスポーツを愛する皆さんへ一言。

(齋藤) 今回の山口国体優勝は私の力ではなくて、秋田県のスポーツを愛するすべての皆様のおかげです。本当に心から感謝しています。私は秋田県代表選手であることを誇りに思っています。県民の皆様もスポーツでしか味わえない仲間との絆や、試合の緊張感や、夢に向かって前進する気持ちや、人間的にも成長させてくれるスポーツの素晴らしさ、などなど、スポーツに対する想いはそれぞれたくさんあると思います。健康のためにも、ストレス解消のためにも、一つ上の目標に挑戦するためにも、いい汗をたくさんかいてスポーツを最高に楽しみましょう。また、秋田の次の若い世代にも素晴らしいスポーツを伝えてください。よろしくお祈りします。ありがとうございました。感謝しています。  
 (佐藤) 秋田をスポーツで盛り上げていきましょう!!!  
 (松岡) 自分の活躍で秋田を少しでも明るく活気があふれるよう努力していきますので、今後とも応援の方よろしくお祈りします。

## フェンシング競技 少年女子 団体フルーレ

聖霊高校 3年 岡 部 夏 奈
聖霊高校 3年 高 橋 風 子
聖霊高校 2年 安 部 夏 帆



伊藤監督

安部選手

高橋選手

岡部選手

### 質問1 出身校を教えてください。

(岡 部) 仁井田小学校、御野場中学校  
 (高 橋) 外旭川小学校、外旭川中学校  
 (安 部) 仁井田小学校、御野場中学校

### 質問2 今大会優勝の感想を聞かせて下さい。

(岡部) 私にとって初めての国体でしたが、高橋、安部と一緒に戦うことで、安心して、落ち着いて試合ができました。とても楽しかったです。  
 (高橋) 優勝を目指して常に戦っていたので、喜びと安堵の気持ちです。仲間と応援して下さった方々に感謝しています。  
 (安部) 楽しかったです。勝ち負けだけに執着せず、それぞれが自分のフェンシングを思う存分できたので、私たちが目指している「全員フェンシング」ができたと思います。



**質問3 今回の優勝の原動力になったポイントを教えてください。**

(岡部) 毎朝の散歩です。3人で早起きをし、錦帯橋が近かったの、いろんな話しをしながら散歩をしていました。  
 (高橋) 秋田県勢が一つのチームとして闘い、全員がピストの上で実力を十分に発揮できたことです。  
 (安部) 間違いなく「応援」の力でした。自分一人で戦っているのではなく、秋田全員で戦っているのだと本当に感じました。

**質問4 岡部選手に聞きます。主将として今大会、どのようにチームを引っ張りましたか。**

主将として心がけたことは特にありません。伊藤聡先生とチーム三人で楽しみ、助け合うことで自分達の試合を創り上げられたと思います。

**質問4 高橋選手に聞きます。高校生活最後の今大会にどのような気持ちで臨みましたか。**

大会前は国体に対する苦手意識、不安がありました。始めてみると余裕を持って、楽しみながらプレーできました。

**質問4 安部選手に聞きます。1対1で迎えた決勝戦の最終試合。どのような気持ちで臨みましたか。**

負けるかも、という気持ちや緊張は全くありませんでした。むしろ「よし！来た！」という気持ちの方が強かったです。

**質問5 フェンシング競技の魅力をお願いします。**

(岡部) 相手との剣のやり取りや、点数を取った時のアピールの仕方です。  
 (高橋) 一瞬の動きや心の隙を探りながら点を決める。という相手とのやり取りの面白さに魅了されています。  
 (安部) 素早い動きを必要としながら、ゆっくりな動きも必要です。いかに相手に「魅せる」かが魅力の一つだと思います。

**質問6 アスリートとして大切にしていることを教えてください。**

(岡部) 挨拶です。試合前後や学校生活などでも挨拶を進めることにより、頑張ろうという気持ちになります。  
 (高橋) 質の良い練習をするための自己意識を高く持つこと。周囲の支えに対する感謝を忘れないことです。  
 (安部) 「ありがとう」はしっかり言うようにしています。実際言われたらうれしいし、言うことによって小さな事に対しても感謝の心を忘れないからです。

**質問7 自分を支える座右の銘、大切にしている言葉などを教えてください。**

(岡部) 「泣きながら苦勞するのではなく、笑いながら努力しよう」です。つらい練習などでも、笑顔で楽しく行うことで前向きに頑張れるからです。  
 (高橋) 「逆境こそ楽しむ」高校に入学してから常に心に留めている言葉です。辛い状況こそ自分が試されているような気がするの、そこをどうやって超えて成長していくかということを考えて常に前向きな姿勢で臨んでいます。  
 (安部) 「才能は有限、努力は無限」言葉の通り、努力は無限に自分を強くするというのですが、楽をしたくなった時でも、この言葉で自分を奮い立たせています。

**質問8 秋田県のスポーツを愛する皆さんへ一言。**

(岡部) ぜひフェンシングと一緒にやってみませんか？今後も応援よろしくをお願いします。  
 (高橋) スポーツを通じて人との出会いや自分自身の成長など、それぞれにとってかけがえのない何かと出会って下さい。  
 (安部) スポーツは人と人との絆でもあると思います。スポーツを通して人の輪を広げ、明るく元気な秋田をみんなで作っていきましょう！

**質問4 優勝の懸かるプレッシャーを何度も経験していますが、どのような気持ちで跳ね返していますか。**

私は今までの練習を思い出しています。やってきた練習が自信になり、それが良い結果につながると思っています。練習で積み重ねてきたことは試合で発揮することが出来ます。あとはやる気と負けない気持ちで跳ね返しています。

**質問5 ウエイトリフティング競技の魅力をお願いします。**

ウエイトリフティングの魅力は自分の力が付いていくことを実感できることです。頑張っただけ数字に表れ、それがうれしくなります。ウエイトリフティングは私に努力の大切さを教えてくれました。このスポーツは努力がそのまま自分に返ってきます。

**質問6 アスリートとして大切にしていることを教えてください。**

私が大切にしていることは健康です。悪いコンディションでは良い結果を絶対に残すことは出来ません。コンディションが良いと満足のいく結果が出せると思います。またアスリートは体が資本なので、体を大切にすることが大事だと思います。

**質問7 自分を支える座右の銘、大切にしている言葉などを教えてください。**

自分を支える座右の銘は「失敗は宝物」です。失敗は成功へのヒントになると思うからです。

**質問8 秋田県のスポーツを愛する皆さんへ一言。**

あきらめず努力すれば、必ず良い結果が残せると思うので、一生懸命頑張ってください。



ウエイトリフティング競技 少年男子  
69kg 級スナッチ  
能代工業高校 3年  
小山内 健

**質問1 出身校を教えてください。**

(出身小学校) 下岩川小学校  
 (出身中学校) 山本中学校

**質問2 今大会優勝の感想を聞かせて下さい。**

優勝できて本当に良かったと思います。北東北インターハイでは残念な結果に終わってしまい、悔しい思いをしましたが、それを晴らすことが出来ました。優勝は自分だけの力ではなく、指導してくれた監督やコーチ、一緒に練習をしてくれたチームメイト、応援してくれた地域の人や家族のおかげだと思っています。

**質問3 今回の優勝の原動力になったポイントを教えてください。**

原動力になったポイントは北東北インターハイだと思います。インターハイでは不本意な結果に終わり、国体では二度と悔しい思いをしたくないと思い、フォームの安定を目標に練習してきました。この弱点克服の取り組みが実を結んだと思います。



強化拠点校紹介

# 秋田市立秋田商業高等学校 レスリング部

## 学校データ

大正9年、秋田市商業学校として開校し、昭和36年、秋田市立秋田商業高等学校と改称し現在に至る。平成22年に創立90周年を迎えた、秋田で最も古い歴史を持つ商業高校である。校訓は「感謝 勤勉 鍛錬」。生徒数計708名(男子317名、女子391名)が、商業を学習し、様々な高度な資格取得に力を入れている。また、部活動も盛んであり、プロスポーツ選手、オリンピック選手を多数輩出している。

## レスリング部紹介

オリンピック出場選手、柳田英明(ミュンヘン1位)、石田和春(ミュンヘン5位)、茂木優(モントリオール7位)、宮原章(モスクワ)、太田章(モスクワ、ロサンゼルス2位、ソウル2位、バルセロナ)、佐藤満(ソウル1位、バルセロナ6位)、片山貴光(アトランタ8位、シドニー)の7名を輩出し、インターハイ優勝3回、全国選抜優勝1回を誇る、名実ともに全国を代表する強豪校である。



## 監督紹介

横山秀和(よこやまひでかず)

1971年4月7日生まれ。秋田市出身。

アトランタ、アテネオリンピック出場の他、世界選手権8回出場、アジア大会3位2回、国体通算10回の優勝等、数々の輝かしい実績を残している。平成13年から保健体育教諭として秋田商業に赴任し、コーチを経て、平成20年から監督を務めている。



## 佐藤貢ヘッドコーチ

秋商レスリング部の強さを支えるのはOBコーチの指導スタッフ。佐藤コーチを筆頭に仕事の合間を縫って訪れ、選手たちへ胸を貸し、徹底して鍛え上げる。





### 基本を学び目指すは全国制覇

基本とは、あいさつ、礼儀等、日常生活の基本、学習を大切にせる高校生としての基本、高校時だけではなく、将来につながるレスリングの基本等「基本」という一言に多くの意味が含まれる。秋商レスリング部に代々受け継がれる強さの秘訣がここにある。



### 新旧キャプテンコメント



桑原章嘉(3年)

今年はインターハイ優勝を目指して頑張ってきたけれども、準々決勝で昨年の決勝で敗れた霞ヶ浦(茨城)に今年も敗れ悔しい思いをしました。来年こそは優勝してもらえるよう、卒業まで1、2年生をしっかり鍛えて行きたいと思います。歴史のある秋商レスリング部のキャプテンとしてプレッシャーもありましたが、最高の仲間を支えられ、努めることができました。



吉川航平(2年)

目標はインターハイ優勝です。プレッシャーはありますが、いい方向に生かして頑張っていきます。レスリング部員であるまえに高校生であることを自覚し、「基本を学び目指すは全国制覇」を実践していきたいです。



### 年間スケジュール

4月 JOC杯全日本選手権 5月 支部総体  
6月 全県総体、東北選手権 7月 大学遠征(早稲田大、日体大)  
8月 インターハイ、東北総体  
9月 県外遠征(山形等) 10月 国体 11月 全県新人  
12月 JOC杯全日本選手権東北ブロック予選  
1月 県外遠征(仙台) 2月 東北選抜  
3月 全国選抜

### 練習メニュー

ウォーミングアップ マット運動 打ち込み(投げ技、タックル、バック回り)  
場面による攻防練習 スパーリング 補強運動  
クールダウン(月・水・金は朝練習実施)



強化拠点校紹介



学校データ

昭和3年に秋田県中央地区の産業教育（主に農業）を担う高校として設立され、平成23年で創立83年目を迎えた。この間、2万名を超える卒業生（平成23年3月卒業で総数21,600名）を輩出。卒業生の多くは県内に定着し、本県産業の中核を担う人材の育成に貢献している。また、部活動も盛んでプロ野球選手、プロボクサー、大相撲力士等、多数輩出している。

ウエイトリフティング部紹介

昭和47年・49年のインターハイ団体優勝をはじめ、インターハイ個人、国体個人において優勝者及び入賞者を多数輩出している強豪校である。小・中学校のジュニア期に競技を実施していないなかで、選手を勧誘し、全国の舞台で活躍できる選手を育成している。



監督紹介

斎藤博史（さいとうひろふみ）

1963年3月27日生まれ。男鹿市出身。

平成6年から金足農業高校に保健体育教諭として赴任し、監督を務める。平成10年の全国選抜、インターハイ、国体の個人3冠をはじめとして、数多くの全国入賞選手を育て上げている。

監督指導方針

平成6年赴任当時は部員は0名であった。ウエイトリフティングを通した、人間形成を目標に掲げ、「人の話を素直に聞ける生徒にしてあげたい」、「考える力を身につけさせてあげたい」と熱心に部員を勧誘し、入部してきた生徒たちには愛情を持って、「子どもたちを有名にしてやりたい」という一心から「勝つためのきめ細かい準備」を生徒一人一人の人間性に応じた指導をしている。





新旧キャプテンコメント



腰山 洸汰(3年)

キャプテンに指名されたとき、人をまとめる立場についていかなかったため、不安はありました。先頭に立ち誰よりも練習すること、私生活でも模範となるように心がけ、チームをまとめました。インターハイ(スナッチ、ジャーク7位、トータル6位)、国体(スナッチ3位、ジャーク4位)入賞を自信に大学でも頑張っていきたいです。



工藤 大生(2年)

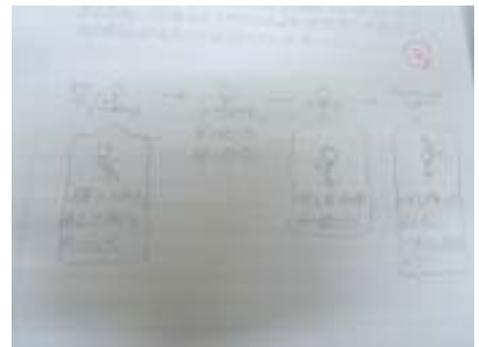
3年生ほどの力はまだありませんが、チームとしてはまとまってきました。先輩たちの残してきた実績を目標に、インターハイ、国体入賞を目指して頑張っていきたいです。

年間スケジュール

4月 市民大会 5月 中央支部総体 6月 全県総体、東北選手権 7月 全国高校女子大会、県民体育大会、国体強化合宿 8月 インターハイ、東北総体 9月 国体強化合宿 10月 国体 11月 中央支部新人 12月 全県新人、東北6県合宿 1月 県外合宿 2月 国体強化合宿 3月 国体強化合宿、全国選抜

練習ノート

選手一人一人が日々の練習のなかで気づいたこと、指導されたことを記入し、次の練習に生かしている。なかには図示してあるものもあり、個々で自由に使いやすいようになっている。



奈良翔平選手

インターハイスナッチ6位、ジャーク2位、トータル2位、国体スナッチ5位、ジャーク2位の輝かしい成績を残した。



先輩へ細かな指導をする奈良選手

2名の女子部員

インターハイ、国体には種目がないため出場することはできないが、全国高校女子大会に向けて男子部員に混じって日々熱心に取り組んでいる。

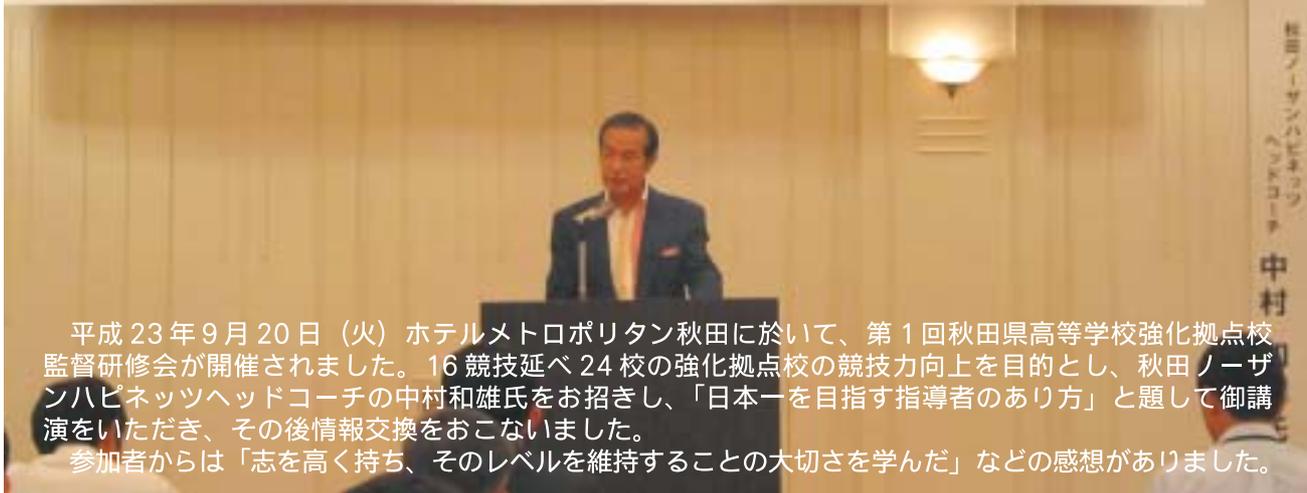


畠山加奈選手(1年)左、矢萩茜選手(2年)右



# 第1回秋田県高等学校強化拠点校監督研修会

## 第1回秋田県高等学校強化拠点校監督研修会



平成 23 年 9 月 20 日（火）ホテルメトロポリタン秋田に於いて、第 1 回秋田県高等学校強化拠点校監督研修会が開催されました。16 競技延べ 24 校の強化拠点校の競技力向上を目的とし、秋田ノーザンハピネッツヘッドコーチの中村和雄氏をお招きし、「日本一を目指す指導者のあり方」と題して御講演をいただき、その後情報交換をおこないました。

参加者からは「志を高く持ち、そのレベルを維持することの大切さを学んだ」などの感想がありました。



### 中村和雄氏の講演から

#### 「日本一でなければ意味がない」

様々な個性を持った選手が集まるチーム。そのチームを率いる際に県 1 位を目指すのではなく、何が何でも日本一を目指す。そこからすべてが始まるのだと思う。2 位も 3 位も一緒という意識を持ってやらなければ、指導者も選手もつまらないのではないかと。

#### 「指導者はプレーヤーよりも汗をかけ」

まずは体育館に 1 分 1 秒でも早く、長くいること。「選手が立っている時に立ってられない。選手が膝を曲げている時に曲げられない。選手が走る時に走れない」となったら指導者を辞める。いつでもそういう指導者でありたい。

#### 「気力、創意工夫、そして愛情がなければならない」

誰かがやったことを探って道を探すうちは駄目だと思う。自分で新しい道を作っていかなければいけない。選手から「ありがとうございました」と言われるが、ありがとうは私が言いたい。選手のおかげでこんなに幸せでいられるんだから、選手に感謝している。

#### 「正しい生活習慣が選手を伸ばす」

靴をそろえる、挨拶をする、話す相手の目を見て聞くなどの躰や生活習慣の部分がプレーに大きく影響を及ぼす。私は外国人選手にも同じことを求める。





## 第66回 国民体育大会報告会



平成23年11月16日(水)秋田キャッスルホテルにて、第66回国民体育大会報告会が開催されました。競技団体の役員、強化担当者など約80名が出席し、鈴木洋一会長の挨拶に続き、國安教善副会長から国体総括、杉山喜幸競技スポーツ課長から結果報告が行われ、その後、山口国体に於いて活躍が顕著であった競技団体の中から4競技団体(フェンシング、相撲、ライフル射撃、ウエイトリフティング)の代表者が、各競技団体における強化策や取り組みなどを紹介した。



### フェンシング競技

少年女子 監督 伊藤 聡氏

協会の一貫指導体制の取り組みに触れ、コーチ陣の指導方針の共通認識が、ぶれない指導体制につながっているという説明がされた。



### 相撲競技

少年男子 監督 伊藤 淳氏

岡山国体以来の入賞であったが、学校の垣根を越えた地道な強化策が実を結んだ。などの具体的な強化方法が紹介された。



### ライフル射撃競技

ライフル射撃協会 会長 伊藤 昭氏

選手の発掘・育成を目標に平成20年から実施しているライフル射撃教室から、選手が育成されてきている取り組みが紹介された。



### ウエイトリフティング競技

少年男子 監督 斎藤 博史氏

強豪の沖縄県で実施した強化合宿などの例を挙げ、協会スタッフが一致団結することで安定した成績につながっているという説明がされた。



## 第67回 国民体育大会冬季大会に向けて

第66回国民体育大会では、天皇杯順位を大きく上げ19位と躍進を果たした秋田県選手団であるが、その大きな要因の一つには、冬季国体での活躍が挙げられる。ここでは、岐阜県を主会場に開催される冬季国体に向け、昨年の大会で活躍したスピードスケート競技とスキー競技の現状と、展望をクローズアップしてみる。

### スピードスケート



10月22日の県立スケート場オープンと同時に、氷上練習が本格的にスタート。冬季国体に向けた練習が一気に熱を帯びてきた。通常の練習の他に2週間の強化練習会を年内に2回実施し強化にあたっている。強化練習会を行うにあたり、国体へ向けての強化はもちろん、強化選手としての自覚をより一層高めると共に、ジュニア選手の強化及び全体レベルの底上げを目的として実施した。小中高と学年が上がるにつれ競技人口の減少がどうしても避けられないのが現状ではあるが、3年前から普及活動にも力を注ぎ、少しずつではあるが手応えを感じているところである。

岐阜国体の県予選前のため国体出場選手については決定していないが、昨年出場した金谷悠希(御所野学院高2年)は夏季北海道合宿の成果とこれ

までの経験を生かした滑りに期待が持てる。吉成宗一朗(秋田中央2年)、齊藤広野(秋田1年)は北海道、長野県、群馬県の強豪県に臆することなく、国体レース特有のシングルトラックレースにおいて積極的なレース展開が期待できる。前回大会、成年男子500m 8位入賞の皆川唯(秋田県スケート連盟)、同1000m 4位の小野俊(秋田県体育協会)、両者の活躍も有力。年々成長を遂げている高橋佑(信州大3年)の活躍にも期待したい。そして過去に優勝経験があり2連覇という偉業を達成している同2000mリレーでは、皆川、小野、鎌田哲朗(秋田ゼロックス)、佐藤貴之(Jマルエー)4名のスプリント力を合わせると優勝を狙える位置にいる。種目によって異なるが予選、準決勝、決勝と勝ち上がり形式となっており、8~12名同時スタートのため選手同士の接触による転倒等を極力避け、通過基準となる各組2着から4着に入るようレース展開を進めていくことが必須であり、これまで積み重ねてきたレース感を存分に生かし、昨年の9点を上回る活躍を目指したい。



### アルペン

昨年度の鹿角国体では地の利を生かし、強化期間が短かったにもかかわらず総得点33点を獲得した。アルペン競技は、スタート順が順位に大きく影響する種目であり、早いスタート順の方が好タイムを出せる可能性が高い。国体の場合には前々年度と前年度の2年間の成績が加味されスタート順が抽選される。従って、昨年度の鹿角国体の好成績は今年度の岐阜国体のスタート順に好影響を与えることになる。

今回、アルペン会場となる飛騨ほうのき平スキー場はハードなバーンのため、正確なスキー操作が求められる。冬場のトレーニングはもちろんだが夏場からの体力面、メンタル面の強化も勝敗を分ける。

アルペン部では夏場に年3回の陸上トレーニング合宿を行っている。ジュニアから成年までの幅広い選手を対象に、最新のトレーニング方法を学んでいる。秋田わか杉国体以前からの取り組みで、その成果が表れ始めている。また冬場のトレーニングとしては11月中旬からの中国遠征、北海道合宿も実を結んできている。

今国体の展望として、成年女子Aの金子未里選手(秋田いすゞ自動車)は今年度、ワールドカップに参戦し世界を相手に戦っており、国体でも優勝候補の筆頭となる。また成年男子Bの生田康宏選手(東京美装興業)も元オリンピック選手の意地を見せてくれそうだ。少年種別では村田輝昭選手(角館2年)、沼森春奈選手(花輪1年)、下村美緒選手(角館1年)の活躍が見込まれる。その他にも期待できる選手は多く、各種別2名ずつの入賞という高い目標を掲げ、来年の地元国体につながる成績を収めたい。





## ジャンプ・コンバインド



昨年はオリンピックの活躍も含め、総得点 52 点を獲得する大活躍を見せた。今年度は引退した選手もあり、昨年度よりも厳しい状況であるがその穴を埋める若手、特に少年組に期待している。

少年組は課題であるジャンプ種目を克服するために、夏場の花輪スキー場花輪ジャンツェでのジャンプ練習に力を入れて取り組んできた。夏場に、飛距離を伸ばすための飛型フォームの改善ができることは、スペシャルジャンプ競技での躍進とコンバインド競技後半クロスカントリー競技を有利な状態で戦えることになる。

今大会の展望としてはスペシャルジャンプ競技においては加賀巧哉選手（秋田北鷹 3 年） 齋藤翔太選手（秋田北鷹 2 年）

が力を付けてきており、入賞圏内である。コンバインド競技においては 2 大会連続 2 位で今大会優勝候補の加賀選手、木村大志選手（花輪 3 年）、湯瀬航大選手（花輪 2 年）が上位を狙える。成年組は厳しい戦いになると思うが田中寛幸選手（中大 2 年）・馬淵源選手（旭大 1 年）にも期待したい。

岐阜国体の会場は標高 1300 m ほどに位置し、高地対策として低酸素状態でのトレーニングをしておかなければならない。11 月中旬からの北海道旭岳合宿では高地トレーニングも視野に入れて強化している。夏場からの合宿の成果を発揮できるよう選手、指導者一丸となって取り組んでいきたい。



## クロスカントリー



急遽、開催が決定した「あきた鹿角国体 2011」で秋田県が一致団結して獲得した天皇杯 2 位、皇后杯 2 連覇。その余韻もつかの間、来シーズンの国体が鹿角市で開催されることが決定した。地元で行われる国体をいかに戦っていけるのかという課題は、今シーズンの岐阜清流国体にかかっている。

昨年、皇后杯獲得の原動力となった女子陣が今年も健在である。石垣寿美子選手（秋田ゼロックス）、大森菜保子選手（同）の 2 枚看板を中心に少年、成年ともに充実したメンバーで戦えようである。特に、少年女子は昨シーズン全国大会で入賞経験のあ

る選手が 4 名おり、複数入賞を狙っている。また、女子リレーでは昨年に続き優勝を狙えるメンバーが揃っており 2 連覇を目指している。

少年男子は、突出した選手はいないものの昨年インターハイ 7 位の入賞経験を持つ倍賞和己選手（花輪 2 年）を中心にレベルの高い選手が揃っている。個人種目もそうであるが、今年のリレーの結果次第では来年の地元国体の優勝が見えてきそうである。

一方、成年男子は苦戦を強いられそうである。これまで得点源だった成年 B、C の選手層が薄く、全国との差は広がる一方である。その中でも唯一活躍が期待できるのが大森亘選手（秋田ゼロックス）である。大森選手は責任感も強く、常に秋田県のまとめ役としてチームをリードしてきた存在である。これまでの国体入賞経験をいかし闘志あふれる走りですべて秋田県チームに勢いをつけてほしいものである。

岐阜清流国体同様、すでに鹿角で開催される地元国体に向けた戦いがスタートしている。全国を相手に厳しい戦いが予想されるが一点でも多く得点し、秋田県に貢献できるようチーム一丸となって頑張っていきたい。





スポーツ科学  
センター  
だより

総合型地域スポーツクラブを核とした  
地域活性化モデル事業

～事業の目的～ =秋田県広域スポーツセンターが支援しています。=

総合型地域スポーツクラブと市町村行政とが連携した健康づくり事業を展開することで、地域住民のスポーツ・運動実施率の向上と地域コミュニティの醸成を図ることを目的としています。このことにより、総合型地域スポーツクラブの有効性と知名度を上げるとともに当該市町村における「新しい公共」としての地位確立を目指すものです。



～事業の内容～

県内3地区にそれぞれモデルクラブを指定。市町村と連携したスポーツ実施率の向上・健康づくり事業等を展開する。  
定期・不定期スポーツ教室の開催（県より指導者派遣）  
健康講話、実技指導等研修会開催（県より講師派遣）  
啓発パンフ、リーフレットの作成配布

～求められる事業成果～

指定クラブ  
顧客（クラブ会員）満足と新規会員の獲得  
非顧客（非会員）へのクラブ活動の周知  
市町村における「新しい公共」としての認知  
市町村行政  
施策目標（スポーツ実施率等）の達成  
「新しい公共」としての市民団体の育成  
広域スポーツセンター（秋田県）  
市町村における「新しい公共」としての総合型クラブの地位確立

※広域スポーツセンターとは、県内における総合型地域スポーツクラブの創設や運営、活動とともに、地域におけるスポーツ活動全般について、効率的な支援を行う役割を担うものです。  
※「新しい公共」とは、公共サービスを市民自身やNPOが主体となり提供する社会、現象、または考え方。新しい公共では市民も公共サービスの提供者となる。（NPO: 特定非営利活動法人）

秋田県広域スポーツセンター 〒010-0974 秋田市八橋運動公園1-5 TEL 018-864-6225 担当：駒木(県北)、高橋(県央)、今野(県南)

県北 鹿角ウインプルスポーツクラブ

鹿角市花輪地区の福祉保健センターや交流センターなどを拠点に健康教室や部活動支援、地域の若者から高齢者まで幅広く参加できる教室を企画しています。毎週月曜日を「スポーツマンデー」と設定し、午前に行っている健康教室では中高年層の参加が多く、参加者のニーズに合わせた健康チェックや軽運動・脳トレーニングなど多彩なプログラムがとて好評です。若年層を対象とした夜の健康教室では20～30代の参加者が多く、活気溢れる教室となっています。またスポーツと食に関する講習会等を地域内の学校と連携して取り組んでいます。

問い合わせ先：事務局 TEL 0186-23-2562（こいけスポーツ内）担当：畠山、川又



毎週月曜日の午前中に市福祉保健センターで開催されている健康教室「はつらつ教室」は、毎回3名の保健師さんによる血圧測定と健康相談からはじまります。また、教室終了時にも血圧が測定され、体調の変化に気づく良い機会となっています。



指導は、県スポーツ科学センターから派遣された職員が、ストレッチと筋力トレーニングを様々なバリエーションで行っています。参加者には好評で口コミで会員が増えています。また、クラブ内の指導者だけではなく、隣接クラブの指導者の育成にも役立っています。

月曜の夜に行われている健康教室「ボクササイズ」は、パンチとボクササイズステップを組み合わせた有酸素運動で、激しい動きが特徴の若者向けの教室です。市交流センターや市民センターを会場として行われ毎回40名程度の参加があります。キッズ教室も同時に開催されており親子での参加も多く見られます。



クラブと学校との連携事業では、スポーツと食育に関する親子の学習会「すばしよく達人講座」が行われています。本事業を通じ、できるだけ多くの地域ニーズに応え、鹿角ウインプルS.Cの知名度を上げたいと考えています。



## 県 央

# NPO 法人スポーツクラブあきた

指定管理をする「県立新屋運動広場」や周辺地域を拠点に、スポーツ文化の発展に寄与するため、スポーツの振興と交流に関する事業を行い「安心・安全・信頼」あるスポーツクラブを目指し地域への愛着を純粋に表現できる場として活動しています。



問い合わせ先：事務局 TEL 018-828-8676（新屋運動広場内） 担当：佐々木

毎週月曜日には、西部市民サービスセンターを会場に午後から「元気アップ教室」を開催しています。主に秋田市・新屋地区住民に参加を促し、簡単な筋力トレーニング・ストレッチ・健康チェックを毎回、行っています。順調に登録者数が増え、会員同士の仲間づくりの場にもなっています。

また、少年少女向けの栄養講座では、小・中・高生のアスリートに必要な栄養についての講話を管理栄養士の先生から聞くことが出来ました。試合前後のメニューなど具体的な内容も聞くことができ、大変参考になりました。

一般市民向けウオーキング教室では、ウオーキングインストラクターの先生を招いて、「バランスウオーキング」について講習をしました。姿勢がよくなり、参加者にも好評でした。冬場の運動不足の解消にむけて、第3回目も是非開催したいと考えています。

また、月曜と木曜に開催するリフレッシュ体操教室では「転倒予防」、「認知機能向上」に効果があると話題の「スクエアステップ」を取り入れています。幅広い年代・アスリート志向から健康増進、コンディショニングまで多種多様な活動に取り組み、地域に運動の機会を提供し、新しい公共を目指します。



## 県 南

# 大曲スポーツクラブ

大仙市より指定管理を受諾している「大曲体育館・大曲武道館・大仙市民プール」を拠点に活動しており大仙市スポーツ振興計画のキャッチフレーズ「一生 スポーツ 一生 健康」の実現を目指しています。各曜日ごとに体育館や武道館等を会場として、ラージボール卓球を始め3B体操・子ども向け教室など多種多様な教室を開催しており、多くの市民の交流の場となっています。

毎週月曜日午前中を使って大曲体育館を会場に行っている「健康づくり教室」には、県北・中央地区よりも男性会員が多く参加しており、筋力トレーニング・ストレッチなどを行っています。また、教室前には看護師さんによる健康チェック（血圧測定や健康相談をし、毎回健康カルテに記録）をしているため、自分の健康状態がわかり、簡単なアドバイスが受けられます。

問い合わせ先：事務局 TEL 0187-63-1122（大曲体育館） 担当：渡部、竹村



健康づくり教室には地元整骨院の先生も協力下さっており、これまで2回の講座を開催し、腰痛予防や肩痛予防の体操のほか、バランスよく歩くためのトレーニングを紹介していただきました。次回はどんな指導をしていたらいいのか参加者一同とても楽しみにしています。（※3回目は2月20日を予定しています。）



ほかにも、当クラブでは季節に合わせてウオーキングのイベント、グラウンド・ゴルフやパークゴルフ交流会なども多数開催しています。大仙市のキャッチフレーズを市民同士で実現できるように、老若男女問わず地域の交流・生きがいをづくりや、家族のふれあいの場としてどなたでも気軽に参加できるよう取り組んでいます。



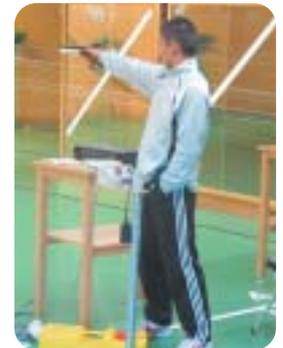
◆秋田県ライフル射撃協会◆

ライフル射撃  
特集

「秋田から全国、世界へ羽ばたく高橋兄弟」



学校の部活動にない競技でも、秋田から全国、そして世界を目指す選手がいる。今回紹介する選手は、ライフル射撃競技に取り組む高橋兄弟。兄の高橋凌太選手（写真左）は現在秋田中央高校の3年生、昨年の全日本社会人ライフル射撃競技選手権少年男子チームピストルの優勝者（今年度は3位）。弟の高橋駿平選手（写真右）は現在泉中学校3年生、山口国体少年男子チームピストルで中学生ながら堂々の2位入賞を果たした選手。全国トップレベルの実力で、兄弟で競い合う二人に話を聞いてみた。



兄、凌太選手に聞きました。

- 競技を始めたきっかけは。  
競技をやっていた父の影響で始めました。小学校3年生でした。
- 競技の魅力は。  
自分が狙った所に当たった時は何とも言えない気持ちです。
- 選手として弟をどう見ますか。  
技術は認めます。ただ、まだメンタル面に課題があると思います。
- ライフル競技の良さを教えてください。  
集中力が自然に高まり、勉強にも生かせると思います。また、得点種目なので、自分の技術が高まるのが実感できる競技です。興味のある方はぜひチャレンジして欲しいです。ゲーム感覚で始められます。



弟、駿平選手に聞きました。

- 競技を始めたきっかけは。  
父の影響です。兄と一緒に始めたと思いますが、じつは当時の記憶はぼんやりしています。
- 競技の魅力は。  
ど真ん中（10点満点）を撃ち抜いた時です。
- 選手として兄をどう見ますか。  
僕よりも練習量は少ないのですが、それで高得点を出すところはすごいと思います。そして兄は、競技中の精神力が僕よりもはるかに上です。
- ライフル競技の良さを教えてください。  
どんな人でも始められるスポーツだと思います。狙った所に当たった時の気持ちは最高です。

兄弟でしのぎを削る二人は共に受験生。凌太選手は志望校入学後も競技を続け、自分を高めたいと目標を語り、駿平選手はこの9月に日本ライフル射撃協会から、平成23年度ジュニア強化選手に指定され、照準を世界の舞台に定め大きな夢を描く。この二人から目が離せない。



ライフル射撃  
特集

## 「みんな集まれ！ ビームライフル・ピストル教室」



トップアスリートとして活躍する高橋兄弟の紹介に引き続き、秋田県ライフル射撃協会では、伊藤昭会長を中心に、平成20年から「ビームライフル・ピストル教室」を月2回のペースで実施し、競技人口の拡大に努めている。取材当日も会場の遊学舎では、20名を超える参加者が、ゲーム感覚でビームライフルやビームピストルにチャレンジしていた。

参加者は小学生以上という制限のみ、お子さんと一緒に訪れたお父さんお母さんも、日頃のストレス発散？親子で得点を競い合っていた。

伊藤会長によると、初心者ながら、明らかに競技センスを感じる参加者も多く、継続して参加していくたびにメキメキと力を付ける姿が見られるとのことであった。協会が所有する機材の他に、県内にある機材をかき集めて毎月2回のペースで、遊学舎をメイン会場に土日祝日に実施している。

今後の予定は下記の通り。みなさんもぜひ足を運び、楽しく集中力を高めてみてはいかがでしょうか。

### 平成23年12月・平成24年1月「冬休み親子で楽しむエンジョイスports教室」 ビームライフル・ピストル教室

開催日時 12月27日(火) 10:00～12:00  
1月11日(水) 10:00～12:00

会場 秋田市立体育館サブアリーナ

対象 一般市民1日30名（小学生以上ならどなたでも参加できます。男女を問いません。家族での参加は大歓迎です）

内容 安全な赤外線を利用したビームライフル及びビームピストル

参加料 保険料 1日30円

（エンジョイスports教室では保険料をいただきますが、遊学舎で開催している教室では無料となっています）

申込み・お問い合わせ

秋田県ライフル射撃協会（伊藤会長） TEL・FAX 018-835-6237





# いざ、冬の陣！

12月23日開幕のバスケットボールウインターカップを皮切りに、高校生スポーツ冬の陣が開幕する。出場する各高校のチーム状況と大会への抱負を紹介する。

- ・全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会 12月23日～12月29日 東京都 東京体育館
- ・全国高等学校駅伝競走大会 12月25日 京都府 西京極総合運動公園陸上競技場
- ・全国高等学校ラグビーフットボール大会 12月27日～1月7日 大阪府 近鉄花園ラグビー場
- ・全国高校サッカー選手権大会 12月30日～1月9日 東京都 国立競技場
- ・全日本バレーボール高等学校選手権大会 1月5日～1月9日 東京都 東京体育館

## 全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会(男子) 能代工業高校(42年連続42回目)

42回目のウインターカップへの切符を手にした県予選では、大会前にポイントとしていたディフェンスが機能し、「その点については合格点」と就任4年目の佐藤信長監督が認める仕上がりを見せた。しかし、頂点を見据える指揮官からは、ノーマークのシュートの精度の低さと、アウトナンバーでのミスが目立つ点について厳しいチェックが入った。技術、戦術の要求もさることながら、佐藤監督は全国の舞台でのポイントを「ゲーム前からしっかりとしたイメージを持つこと、それもよりポジティブな発想で」と、メンタリティーの重要性を挙げた。練習でやってきたことを100%発揮し、相手のペースに合わせることなく自分達のペースに引っ張り込むようなゲーム展開を目指す。人間的成長を求めながら、ファンダメンタル(基礎・基本)を見失うことなく、あらゆる準備を怠らないチームからは、一戦一戦全力を尽くすという覚悟がうかがえる。「必勝不敗」の能代工業に期待したい。



### 志水一希主将の話

県予選ではディフェンスの練習の成果を発揮することができたと思います。それでも自分達は高さがない分、もっともっと激しいディフェンスを仕掛け、速攻に結びつけていかなければいけないと思います。全力で、40分間走り続けるバスケをやりきりたいと思います。そのためにも、3年生がもう一段階成長して大会に臨みます。周囲の方々の期待の大きさは自覚しています。

## 全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会(女子) 湯沢翔北高校(3年連続11回目)

開校一年目の今年、女子バスケットボール部は県内のタイトルをすべて獲得。インターハイ、国体の悔しさをバネにウインターカップに挑む。県予選では、体調不良者を抱えながらの戦いとなったものの、開校初年度の「全国大会全出場」を合言葉に、チーム自らがプレッシャーをかけながら戦い抜いた。大会の目標をベスト8に設定する樋渡真監督は、インターハイでの敗戦から、「全国ベスト8以上のレベルのチームを倒したい」と闘志を燃やす。昨年の経験のある選手がいるものの、「機動力の中心となるガード陣」、「空間で対抗するためのセンター陣」のレベルアップが課題と樋渡監督は語る。練習では、足を止めずに走り抜くことで生み出されるスペースの作り方、使い方を徹底させるなど調整に余念がない。今年の総決算となる3度目の全国の舞台に向け、湯沢翔北が今、羽ばたく。



### 伊藤文音主将の話

体調万全で臨めなかった県予選でしたが、特にポイントとしていたディフェンスがうまく機能できたことは自信になりました。全国大会では高さへの対応が課題となると思うので、「リバウンド」と「平面の勝負で走り負けない」ということを目標にしていきたいです。思い切りの良さがチームの持ち味なので、様々な局面で迷いのないプレーを心がけ、ベスト8を目指したいです。



## 全国高等学校駅伝競走大会(男子) 花輪高校(14年ぶり4回目)

秋田工業高校の14連覇を阻止し、14年ぶり4回目の出場を果たした花輪高校。これまで秋田工業の後塵を拝してきた悔しさを一気に爆発させた結果となった。県予選は、強風の中でのレースであったため、設定タイム通りの走りができず苦しい展開であったが、我慢強い粘りの走りが功を奏した。

「生活習慣 = 大会結果」と部員に話す就任4年目の佐藤拓監督は、就任時から家庭、学校、練習のすべてにおける生活の見直しに着手し徹底してきた。昨年の女子に続く都大路の本番に向け、細かなメニューの組み立てとともに、選手の意識レベルの更なる向上を求める。「全国大会では前半が勝負、4区までにいい流れを作ることができればいいレースになる」と語る佐藤監督は目標タイムを2時間7分台後半から8分台前半に設定。10位台を目指す。



### 齊藤亮主将の話

たくさんの方々の応援のおかげで代表権を勝ち取ることができたと思っています。感謝の気持ちで一杯です。チーム全員が一つになって襷をつなぐことができるのがチームの持ち味です。個々のメンタルをもう一度高めるためにも、練習や生活をもう一度見直して大会に臨みたいと思っています。鹿角市、秋田県に感動を与えられるような走りができるよう、頑張ってきます。

## 全国高等学校駅伝競走大会(女子) 大曲高校(2年ぶり5回目)

2年ぶりの王座奪還について小澤監督は「どんなにいいタイムを出せても、勝たないことには次のステージに進めない。とてもきついレースでした」と振り返った。小澤監督が「入学当初のレベルからは想像できないほどの成長してくれた」と全幅の信頼を寄せる石山主将を中心に、抜群のまとまりを見せ、自分達の区間を全力で走りきった結果が優勝につながった。

5回目の都大路に向け、小澤監督は「出場する選手、チームの様々な思いが交錯し合う特別な場所。順位の変動も激しい中できちんと流れをつかむことが大切」とポイントを挙げた。県予選を共に戦ったチームの思いも大切にし、失敗を恐れず、区間配置等の様々なチャレンジを繰り返しながら、スタートの瞬間を待つ覚悟。昨年、花輪高校が県勢過去最高順位(20位)を果たしたレースを複雑な心境で見ている、悔しさを知るメンバーが今年は京都を駆け抜ける。



### 石山由佳主将の話

去年の悔しさを味わっていたので、全国への出場権を取れたことは本当にうれしいです。全国大会に向け、全体の底上げがまだまだ必要ですが、学年の垣根なく、本音をぶつけ合ってお互いを高めてきた私たちのスタイルを生かし、最後の1秒まで大切に走りきりたいと思います。小澤先生が私たちによく話して下さるように、感謝の気持ちを忘れず頑張りたいと思います。

## 全国高等学校ラグビーフットボール大会 秋田中央高校(3年ぶり8回目)

全県総体で秋田工業を下して優勝、第1シードとして臨んだ県予選であったが、指揮官古谷和義監督は「うちのチームはチャレンジャー、受けて立つ力などありませんでしたから、先行逃げ切りで3トライ以内に抑えることが秋田工業戦のゲームプランでした」と劇的な逆転勝ちを振り返った。花園に向けて古谷監督は、「全国で戦う事を考えると課題は全部」と語る。例年に比べFWの力強さを欠くため、とにかくディフェンスで頑張ることが勝敗の鍵を握る。就任当初は花園出場が目標であったが、「本気で日本一を狙えるチーム作り」に目標はシフトしてきている。課題を明確に自覚しながらも、目標を「ベスト8以上」に設定するチームからは、「乾坤一擲」の覚悟がうかがえる。「ピンクロ」のジャージが花園で旋風を巻き起こすことを期待したい。



### 富樫玄主将の話

準決勝を苦しい戦いながら勝ち抜き、決勝戦ではチームが一つになることができた、今年一年の成果を発揮できた試合だったと思います。全国的に見てサイズの小さいチームなので、低く鋭いタックルから相手の弱い部分につけ込み、15人一体となってFW、BK全員でゲームを進めたい。また、8月にチームを離れた山内健太郎(8月に水の事故で亡くなった)の花園への思いと共に戦ってきます。応援よろしくをお願いします。



## 全国高校サッカー選手権大会 西目高校(6年ぶり12回目)

就任18年目の畠山啓監督がチームを率いて、インターハイ予選、選手権予選の2冠達成は初めてのことで、県勢の連敗阻止の期待も高まる中、畠山監督は冷静にチーム力を分析する。インターハイでの敗戦と全国の強豪チームの試合観戦から、自分達のプレースタイルとしてきた「パスをつなぐサッカー」の精度の低さを実感。もう一度全国の舞台で戦うために、選手の意識を奮い立たせた。迎えた選手権予選では、目標を全国での勝利に置くことで、ひたむきに自分達のプレースタイルを磨き上げ、その結果としてつかんだ6年ぶりの栄冠であった。

全国大会までの課題を「突破のバリエーション」「守備の組織力」「チームとしての戦うメンタリティ」と語る畠山監督は、インターハイでの敗戦から這い上がってきた選手達の成長を感じながら、ヨコではなく、タテ(ゴール)につなぐスタイルで全国大会での勝利を目指す。



### 佐々木圭主将の話

インターハイでの敗戦後、全国での一勝を目標に取り組んできたので「ほっとした」というのが正直な気持ちでしたが、準決勝での反省点を決勝戦で修正できた点などを考えれば、チーム力が上がってきていると思う。チームの目指すスタイルは、最終ラインからでもパスをつないで前線にボールを運ぶ「パスサッカー」。インターハイではできなかったつなぐサッカーで、全国での一勝と県勢の連敗を止めたい。

## 全日本バレーボール高校選手権大会(春高バレー・男子) 雄物川高校(17年連続17回目)

全試合ストレート勝ちで17年連続17回目の出場を決めた雄物川高校。宇佐美監督は試合を振り返り、3セット目の連続ミスによる失点が良くなかった。全国で勝つための「粘り強いバレー」を展開するには、単純なミスは命取りになると課題を明確にした。

オリンピック選手(宇佐美大輔選手・現全日本男子バレーボールチームキャプテン)を始め、数多くの名選手を輩出して来た伝統ある練習は大半がレシーブ練習である。拾ってつないで1点をとることを繰り返し体に染み込ませている。力ではなくしつこさで点を取るためだ。現在のチームは2年生主体のチーム。1、2年生がこの1年で大きく成長している。宇佐美監督は自分たちのスタイルを大切に、体力面、精神面ともに充実した状態で本番を迎えられれば雄物川らしいバレーを展開できる。春高をスタートラインとして考え、照準を合わせていくと意気込みを見せた。



### 小林賢志郎主将の話

春高が初舞台となる2年生メンバーが多い中、1年時から春高を経験し3回目の出場となる自分の役割は大きい。チームが乱れたときには保城(3年)とともに後輩たちを引っ張っていきたい。昨年は1回戦敗退という悔しい思いをした。高校最後の大会なので今まで練習してきた成果を全国の舞台で出し切りたい。

## 全日本バレーボール高校選手権大会(春高バレー・女子) 由利高校(3年ぶり23回目)

3年ぶり23度目の優勝を勝ち取り春高への切符を手に入れた由利高校。全県総体、県体に続き、3冠を達成し不動の強さを見せた。決勝の聖霊戦ではフルセットになることを覚悟して臨んだという菅原監督。万全な体制ではなかったが、練習どおり実践できれば勝てると信じていたと振り返った。

試合前に、「必勝信条」を読み上げ気合いを入れることがチームルーティーン。由利高校バレーボール部。「伝統」と「格式」を重んじ、「信頼」と「感謝」からなるどこにも負けないチームワークで、「気魄」を声と行動で表現し、「粘り強いレシーブ」を何度も何度も繰り返し、「誇り」を持って最後まで諦めないで戦い抜くのが由利バレー。就任4年目の菅原監督は常に意識改革を行い、メンタル面の強化を徹底して行っている。精神論が張り巡らされたバレー部の体育館はまさに聖域である。

今年の北東北総体ではベスト16入りを果たし、主将の宮越選手が優秀選手に選ばれる活躍を見せた。菅原監督は今年度2度目となる全国の舞台だが、雰囲気飲み込まれることなく自分たちのリズムで由利バレーを見せつけ上位を狙いたいと抱負を述べた。



### 藤原聡子副主将の話

春高は初戦で敗退すると次がないトーナメント方式で1回戦から勝負だと思います。北東北総体ではベスト16入りし自信になったが、8月に行われた東北総体では国体出場を逃すという悔しい思いもした。全てをリセットし初心に戻り再スタートを切って頑張ってきました。3年生にとっては最後の試合になるのでこれまでのいろいろな想いをぶつけてベスト8を目指します。



# いざ、 冬の陣!





# 県体協事務局だより

## 会議録（抄）

### 8月30日 第1回審査委員会

- ・生涯スポーツ賞の新設に伴う規程等の一部改正について  
秋田県スポーツ賞表彰規程改正(案)  
秋田県スポーツ賞表彰授与基準「地域団体推薦基準」改正（案）
- ・秋田県スポーツ賞表彰内規等の一部改正について  
秋田県スポーツ賞表彰内規（案）  
秋田県スポーツ賞選考委員会要領（案）  
秋田県スポーツ賞表彰授与基準「競技団体推薦基準」改正（案）

### 9月22日 第3回総務委員会

- ・公益財団移行認定申請書（案）の提出について
- ・諸規程（案）の改正・新設について  
賛助会員規程（案）の一部改正について  
加盟団体規程（案）の一部改正について  
寄附金取扱規程（案）の新設について  
役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程（案）の新設について
- ・定款（案）の一部改正について

### 9月22日 定例理事会

- ・第38回東北総合体育大会の成績について
- ・平成25年度第68回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催要請について
- ・強化拠点校監督研修会について
- ・公益法人移行認定申請書の提出について
- ・諸規程の改正・新設について

### 10月28日 第2回審査委員会

- ・人見スポーツ賞・畠沢国体賞・辻ジュニア

- スポーツ大賞規程の一部改正（案）について
- ・選考基準に関する検討事項について
- ・人見スポーツ賞・畠沢国体賞・辻ジュニアスポーツ大賞選考要項の一部改正（案）について
- ・秋田県スポーツ賞選考委員会要領の再検討について

### 11月1日 第1回事業委員会

- ・秋田県競技力向上支援協議会規約の改正について
- ・（財）秋田県体育協会事務局財政基盤強化について
- ・「スポーツ立県応援キャラクター」愛称募集について
- ・事業委員会所管事項について

### 11月16日 定例理事会

- ・第66回国民体育大会競技結果について
- ・東北六県主管課長・体育協会合同会議について
- ・スポーツ立県応援キャラクター愛称募集について
- ・秋田県競技力向上支援協議会規約の改正について
- ・（財）秋田県体育協会事務局財政基盤強化について
- ・事業委員会所管事項について
- ・人見スポーツ賞・畠沢国体賞・辻ジュニアスポーツ大賞規程の一部改正（案）等について



本年も残りわずか。秋田のスポーツシーンも大いに盛り上がりを見せたように思う。前年を上回る好成績を収めたスケート国体を皮切りに、本県出身のオリンピックが出場した鹿角スキー国体、地元開催となった北東北インターハイ、能代商業高校の甲子園での活躍、山口国体での大躍進、プロ野球日本シリーズにおける落合監督に、胴上げ投手となった撰津投手、W杯バレー日本代表の江畑選手、宇佐美選手の大活躍などなど、プロアマ問わず秋田県勢の活躍は枚挙に暇がない、うれしい一年であった。

そしてまた、優勝や入賞の裏側にも様々なドラマがあったことも忘れてはならない。夏の甲子園で県勢の連敗を止めた能代商業高校野球部員は、開門前

のこまちスタジアムの観客席をすべて磨き上げ、観客の入場を待った（心遣い）、ある競技会の表彰式で、賞状を受け取った主将は一礼の後、回れ右の所作を迷いなくおこなって列に戻る（驕）。チームメイトの抱えるケガをみんながわかり合った中で、あえて互いにそれを一切口にせず勝負に挑む姿（究極の団結力）。などなど、勝ち負けを超越したシーンにも数多く出会うことができた。今後も心打たれるシーンに出会えることを期待したい。

最後に、お忙しい中、取材の協力や原稿執筆をいただきました皆様、写真を提供していただきました秋田魁新報社様、御協力ありがとうございました。

編集者 勝田 慎 前田 剛徳 佐藤 孝志  
河村 純子



【ウエイトリフティング】  
少年男子94kg級ジャーク 2位  
奈良翔平(金足農高)



【カヌースプリント】  
少年女子カヤックシングル500m 2位  
佐藤美鈴(由利高)



【カヌースプリント】  
成年女子カヤックシングル200m 2位 小野祐佳(筑波大)



【ボート】成年女子 舵手つきクォドルプル 2位 秋田選抜



【サッカー】成年男子 2位 秋田選抜



【レスリング】  
少年男子 グレコローマンスタイル84kg級 2位  
櫻庭正義(秋田商高)



【ライフル射撃】  
少年男子 ビームピストル(40発) 2位  
高橋駿平(泉中)



【レスリング】  
少年男子 フリースタイル96kg級 2位 齋藤拳斗(秋田商高)



【フェンシング】  
成年女子フルーレ 4位 秋田選抜



【バドミントン】  
成年女子 3位 北都銀行



【陸上競技】  
少年男子A円盤投げ 4位  
安保健吾(花輪高)



【馬術】少年馬場馬術 3位  
小澤勝芳(秋田県馬術連盟)



【馬術】  
成年男子馬場馬術 4位  
阿部大輔(横手高教)



【ウエイトリフティング】  
少年男子105kg超級スッチ 3位  
腰山浩太(金足農高)



【ラグビーフットボール】  
成年男子 5位 秋田選抜



各種スポーツ大会 イベント等  
ぜひ一度味しん弁当  
ご賞味下さい。

630円(税込)~ご予約承ります。  
ご相談の上値段調整可

有限会社 仕出し 味しん

〒010-0951 秋田市山王2丁目7-19  
ロイヤル山王ビル

フリーダイヤル 0120-624338  
TEL. 018-862-4338  
FAX. 018-862-4614

事務用品・スチール家具・備品・OA機器・書道用品

株式  
会社 **くらや**

本社 〒011-0941 秋田市土崎港北3丁目2-51  
山王店 〒010-0952 秋田市山王新町4-5  
TEL.(018)863-6001(代表)  
FAX.(018)863-6004  
e-mail:kuraya@seagreen.ocn.ne.jp

# “使いやすさ”に“優しさ”をプラスしたフルカラー複合機 DocuCentre-IV C2260

## Convenient

楽しい外観とグラフィカルな操作パネルは、随所に工夫を施して操作性をアップ。

## low-Cost

省エネ・省資源をはじめとした、人と地球に優しい環境性能。

## Compact

幅585×奥行き640×高さ1,046mmのコンパクトボディ。



Copy		Print		Fax	Scan	
カラー	モノクロ	カラー	モノクロ	スーパー	カラー	モノクロ
20	20	20	20	G3	55	55
枚/分	枚/分	枚/分	枚/分	対応	枚/分	枚/分

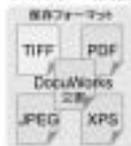
※所定の条件での仕様値です。



### Scan to USB & USBメモリープリント ※オプション

パソコンがなくてもUSBメモリーがあればスキャン文書の保存も出力も可能！

スキャナー (USBメモリー接続)



「こんなことができれば便利なのに。」

そんな声に応えるための高機能をこの1台に集約しました。

秋田ゼロックス株式会社

秋田市川尻町字大川反 170-92  
TEL:0120-23-4645

傷害保険

賠償責任保険

突然死葬祭費用保険

# スポーツ安全保険



対象となる事故 **団体活動中の事故 / 往復中の事故**

保険期間 平成23年4月1日午前0時より平成24年3月31日午後12時まで(申込受付は平成23年3月から)

加入区分・掛金・補償金額 (団体活動を行う5名以上の方々に、加入区分をそれぞれお選び頂いてご加入ください。)



加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (一人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最高)	入院 (日額)	通院 (日額)		
子ども (中学生以下 (特別支援学校 高等部の 生徒を含む))	スポーツ・文化・ボランティア・ 地域活動	A1	600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など)
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段：団体活動中及びその往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,150円	2,100万円 100万円 熱中症及び細菌性・ウイルス性食中毒の場合、保険金額はA1区分と同様 熱中症及び細菌性・ウイルス性食中毒は対象となりません。	3,150万円 150万円	5,000円 1,000円	2,000円 500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億500万円 ただし、身体賠償は 1人 1億500万円 身体・財物賠償 合算 1事故 500万円	葬祭費用 180万円 対象と なりません
大人	高校生以上 65歳以上 の方でも加入 できます。	A2	600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	文化・ボランティア・地域活動 団体の送迎、応援、準備、片付け	C	1,600円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導 子どものスポーツ活動の指導 ※C区分でも加入可	AC	1,100円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円		
	65歳以上 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない方は A2区分	B	800円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	9,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

※同一団体で1口しか加入できません。中途加入する場合、中途脱退する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入れ替え、加入区分の変更はできません。

※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

インターネットからの加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。 **Web** スポーツ安全協会 検索

## 財団法人 スポーツ安全協会 秋田県支部

(秋田県体育協会内)

〒010-0974 秋田市八橋運動公園1-5 秋田県スポーツ科学センター内 TEL 018-883-0360 電話受付時間:午前8時30分～午後5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳細内容、資料の請求は、  
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付しております。

この広告はスポーツ安全保険(傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約付帯普通傷害保険、スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)及び突然死葬祭費用担保特約)及び賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際は、必ずスポーツ安全協会のあまし及び「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険株式会社にお問い合わせください。

(引受幹事保険会社)  
東京海上日動火災保険株式会社 (担当課) 公務第2部公務第1課  
TEL 03-3515-4133 (平日9:00~17:00)  
(共同引受保険会社(平成23年4月予定)) ※予告なく変更となる場合があります。  
あいおいニッセイ同和 共栄 火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動  
日新火災 日本興亜損保 富士火災 三井住友海上  
平成23年1月作成 10-T-08374